

美術展開催のご案内

ねむの木学園教職員一同

いつもねむの木学園に温かなお心をお寄せくださいまして、ありがとうございます。

皆様いかがお過ごしでしょうか。寒波による大雪や新型コロナウィルスの影響で、大変な毎日を過ごされている方々がたくさんおられることと思います。本当に心が痛みます。一日も早い収束が望ますが、自然の脅威、感染症の猛威を目の当たりにして、人間は自然とどのようにして関わるべきかといったことを改めて考え直す昨今です。

当学園では、まり子学園長が旅立って間もなく1年を迎えるとしています。この間子どもたちも、そして私たち教職員も、悲しみと不安の中で毎日を過ごしてまいりました。その悲しみが癒えるにはまだまだ時間がかかります。また何をするにも常に不安が伴うということは、これからもずっと続くものと思われます。新型コロナウィルスの感染拡大という事態のため不自由できゅうくつな生活が強いられていることも、悲しみや不安に拍車をかけています。しかしまり子学園長の教育理念を継承し、そしてこの危機を何とか乗り越えるため、こどもたちと教職員が互いに手を取り、協力し合い、励まし合い、前を向こうと声を掛け合っています。

さてこのような時期ではございますが、この度美術展を開催させていただくこととなりましたので、ご案内申し上げます。3月18日（木）から31日（水）まで、掛川城のそばの掛川市二の丸美術館で開催します。旅立って1年を迎えるのを機に、掛川市の福祉や文化芸術の向上に対するまり子学園長の功績を顕彰するため、「かけがわ茶エンナーレ」という一連の文化事業のひとつとして行いたいというお誘いを、掛川市長はじめ掛川市の関係者の皆様からいただきました。会期の中にまり子学園長の命日があることに対する戸惑い、またまり子学園長がいない中、私たちの力だけで美術展ができるだろうかという不安もございましたが、掛川市の皆様の温かなお心遣いにお応えすることにいたしました。地元掛川市で開催する初めての美術展です。新型コロナウィルスの状況が心配ですが、会場ではこどもたちによるコーラスも披露させていただく予定です。こどもたちの日々の活動による成果を、できるだけ多くの方にご覧いただきたいと思います。数々の個性的な作品から、こどもたちの無限の可能性と、やさしさと、力強さを感じてください。

新型コロナウィルス関連の対応について

この度の美術展の開催に際して懸念されるのは、新型コロナウィルスの感染拡大状況がどうなっているかということです。この美術展のお話をいただいたのは昨年の5月でした。その時点では、1度目の緊急事態宣言が功を奏し、感染状況も落ち着きが見られていました。一抹の不安はありましたが、1年近くたてばある程度収束への見通しも立っているのではないかとの期待感もあり、十分な感染予防対策をとれば美術展も開催は可能であろうと考えました。しかしながら11月以降の第三波は収まる気配が見られず、感染状況は悪化の一途をたどり、このお便りを記している現在、首都圏や大都市圏など10都府県に緊急事態宣言が発令されており、その対象地域は拡大される可能性があります。またその期間も、とりあえず3月7日までとのことですが、延長される可能性があります。静岡県内及び掛川市内でもクラスターが発生している状況で、全く予断を許しません。

美術展の開催時、ご入館に際しては検温及び手指の消毒を行っていただくのはもちろんのこと、感染状況及び混雑状況によっては入館者数を制限させていただくこともあるかもしれません。またこどもたちのコーラスを中止させていただくことになるかもしれません。さらに緊急事態宣言対象都府県からのご来館をお断りしたり、または県外からのご来館をお断りしたり、あるいは最悪の場合美術展の開催 자체の中止ということもあります。

美術展におけるコロナウィルス関連の対応につきましては、ねむの木学園及び二の丸美術館のホームページにて随時ご案内いたします。おいでいただく前に少しでもご不明な点などがございましたら、ホームページをご覧いただくなか、お電話にてお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

ねむの木学園

ホームページ <https://www.nemunoki.or.jp> （「ねむの木学園」で検索）

電話 0537-26-3900

掛川市二の丸美術館

ホームページ <http://k-kousya.or.jp/ninomaru/>

（「掛川市二の丸美術館」で検索）

電話 0537-62-2061

